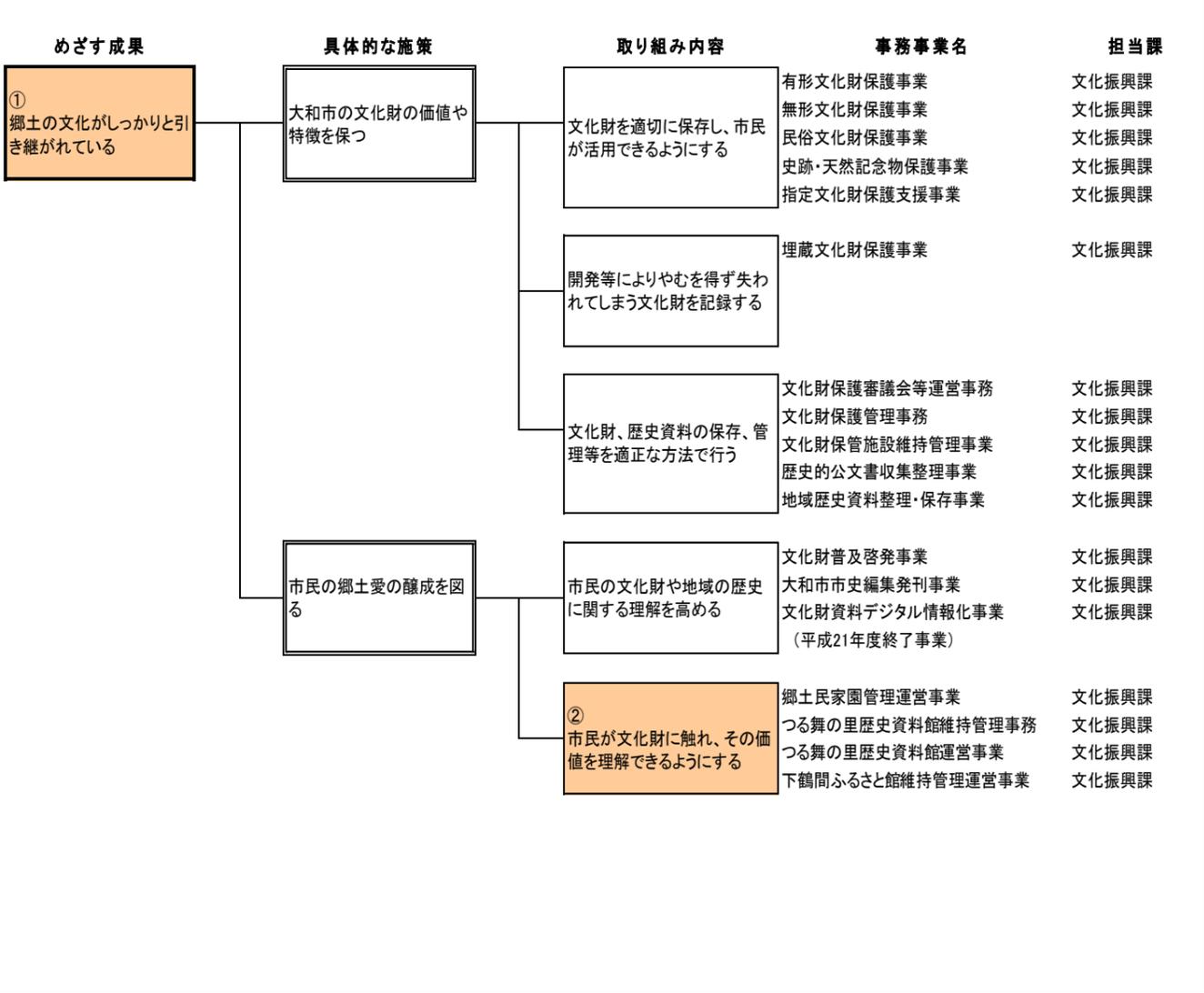


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

6-2-2 郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	大和の文化を守り育てる
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている 歴史的価値のある資料が体系的に整理され、それを展示する施設を多くの人が利用しています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合		歴史文化施設の利用者数	
計画策定時	35.8%	計画策定時	40,999人
現状値		現状値	
実績値 (H21)		実績値 (H21)	81,085人
中間目標値 (H23)	36.5%	中間目標値 (H23)	42,600人
目標値 (H25)	37.0%	目標値 (H25)	43,500人

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

主な取り組み内容	<p>【大和市の文化財の価値や特徴を保つ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有形民俗文化財を保存し将来へ伝えるため整理作業を進め、文化財施設に保管するとともに、消えゆく無形民俗文化財については、将来へ伝えるための資料となるよう記録保存を行いました。 史跡・天然記念物が将来へ引き継がれるよう、保存の手だてを講じました。 埋蔵文化財が開発行為などにより保存されない状況に置かれた際に、調査・指導を行い記録として保存されるように努めました。 市が作成する文書などから歴史的公文書を抽出し、歴史資料として保存し将来へ伝えられるよう手だてを施し活用までの道筋を準備しました。また、地域に存在する各種歴史資料については、保存処置を施し、将来へ引き継がれるよう手だてを講じ、活用の準備を行いました。 <p>【市民の郷土愛の醸成を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市域の特徴的な歴史事象を取り上げて、講演会を通して市民に向けて歴史情報を伝えました。また、市域の歴史について資料を研究したり、重要な資料について解説を進め、その歴史情報を図書として刊行しました。 市が所蔵する各種の記録フィルムが経年劣化し失われる前に、利用しやすい媒体に変換し保存しました。
----------	---

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	<ul style="list-style-type: none"> 約1000件程度の埋蔵文化財の取扱いに関する協議の中から、埋蔵文化財包蔵地内の工事については埋文が保存されるよう指導し、試掘調査が必要な案件については調査を実施、さらに本格調査が必要なものについて指導、あるいは調査を実施するとともに、立会調査が必要な案件については工事現場で確認作業を行う必要があります。 地域の個人宅で保管されている資料のなかから、約800点程度を借用し、整理作業を進め、目録作成し保存処置を施して、個人で管理できるようにしたうえで返却します。 歴史資料の記録フィルム205,000カットをデジタルデータに媒体変換し保存を確実なものとし、また、利用しやすくなるようにする必要があります。 下鶴間ふるさと館については、年度末までは指定管理での管理運営を進める一方で、H23年度より管理運営を直営で行えるよう準備する必要があります。 H23年度より、つる舞の里歴史資料館と下鶴間ふるさと館を一体で管理運営し、三つの資料館が連携した企画を行い、見学者が三館を回遊しながら歴史や民俗資料を身近に体験できるような活動を行う必要があります。
-------------------------	---

今後の展開方針		
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	・収蔵資料の一部を画像データ化し、保存することについて検討します。	（該当する事務事業） 歴史的公文書収集整理事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化	・下鶴間ふるさと館とつる舞の里歴史資料館と一体で効率的に管理します。	（該当する事務事業） 下鶴間ふるさと館維持管理運営事業
その他見直し		（該当する事務事業）

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	* 平成24年度の審議予定となっています。